

## 商工労働部労働雇用課

### 1 目的

若年者の早期離職傾向は「七五三現象」とも言われ、就職後3年以内に離職を経験する割合が高く、大きな課題の一つとなっている。

そこで、若年者の働きやすい環境づくりや離職防止のための施策を検討するため、本県における離職状況の実態を把握するための調査を、事業者及び求職者の双方を対象として実施する。

### 2 事業内容

事業者と離職者の双方から離職原因等を調査し、課題を分析することで、若年者の職場定着に必要な支援施策を検討する。

国が実施している調査は事業者のみを対象としており、また、都道府県別のデータとはなっていないことから、本県の実態を把握するために、県内企業3,000社に対する調査に加えて、ジョブカフェ信州に来所する離職者に対して、給与や労働条件の不满など、雇用される者からみた離職理由も併せて調査する。

#### (1) 事業者に対する調査

①対象：3,000社

②調査項目

- ・採用方針（新規採用中心、中途採用中心など）
- ・新卒採用社員の離職状況  
（採用後1～3年間の離職状況、離職理由、新卒者の定着対策）
- ・行政に対する要望

#### (2) 求職者に対する調査

①対象：1,000人

②調査項目

- ・新卒採用後勤務年数
- ・退職理由（解雇、労働条件、人間関係など）
- ・企業に対する要望
- ・行政に対する要望

### 3 予算額 1,152千円（緊急雇用創出基金繰入金 1,150千円、雑入2千円）

### 4 スケジュール（H24.11～H25.12）

